

1 学習時間のめやす

50分



2 学習時間のめやす

いつ（曜日など）	何時から何時まで

3 学習のメニュー（お決まりコース＋お好みコース）



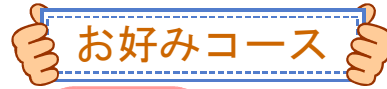
「読み・書き・算」のふく習を中心に

- かん字**
- 国語の教科書やかん字ドリルを活用しよう。
 - ・ 書きじゅんや「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて書く。
 - ・ 前の日のページでまちがったかん字はかならず書き直す。
 - ・ まちがった字を何回書いても、力はずきません。

- ドリルプリント**
- 先生から出されたドリルやプリントの問題をしよう。
 - ・ さいしょは自分の力だけでとく。
 - ・ できなかつたり分からなかつたりした問題には、えんぴつでしるしをつけておく。後から教科書やノートでたしかめてとく。
 - ・ それでも分からなかった問題は先生にしつもんする。
 - ・ まちがった問題は、かならず やり直しをする。

- 日記**
- その日、考えたり感じたりしたことを文や詩に表そう。
 - ・ 題名を書く。（先生からテーマが出されることもあります。）
 - ・ 書き出しをくふうする。
 - ・ 「うれしかった」「悲しかった」気持ちを、ほかの言葉を使ってあらわしたり、国語で学習した言葉や言い回しを使って書く。
 - ・ 習ったかん字はかならず使う。分からない時は国語辞典で調べる。

- 音読**
- 国語の教科書や図書の本、家にある本などを利用して、毎日続けよう。
 - ・ 物語文では、登場人物の気持ちや場面のようなことをよく考えて読む。
 - ・ せつ明文では、どんなことが書いてあるか、だいじなことは何かを考えながら読む。
 - ・ 音読カードに、家の人のしるしをもらう。



自分で考え、自分で見つける学習

①各教科

- 国語**
- できなかった問題にもう一度チャレンジする。
 - ・ 教科書、ドリル、前にやったテスト、家にある問題集など
 - 漢字や言葉の学習をする。
 - ・ 新しく出てきた漢字や言葉の意味を、国語辞典を使って調べる。
 - ・ いろいろな言葉を使って短い文を作る。
 - ・ 「くわしくする言葉」をできるだけたくさん使って、かぞくのことや自分のたからものについてせつめいする。
 - ・ 「かん字クイズ」をつくる。
 - ・ いろいろな漢字を集める。
 - 読んだ本の読書絵日記をかく。
 - 詩や ゆう名な文しょうの あんしょうにチャレンジする。

- ①「読み方」がたくさんある漢字
- ②「へん」が同じ漢字
- ③「つくり」が同じ漢字
- ④反対の意味の漢字
- ⑤同じ音で意味のちがう漢字

- 社会**
- 教科書を読んで、大切だと思う言葉をぬき出し、かんけいのあるしりょうを読む。
 - ①校区ごとの人口
 - ②「へん」が同じ漢字
 - ③スーパーマーケットやお店の仕事について
 - ④やさいを育てる仕事について
 - ⑤けいさつやしょうぼうの仕事について
 - 指宿市のことについて調べる。
 - 調べたことを新聞にまとめる。
 - 地図記号をカードの表に、意味をカードのうらに書いてまとめ、計算カードのようにしておぼえる。

- 算数**
- その日の学習をふりかえって、もう一度といてみたり、自分なりにノートにまとめたりする。
 - 学習したところの問題作りにチャレンジする。
 - 学習したことが、生活のどんなところにかくれているかみつける。
 - 【れい】「正方形」や「長方形」がどこにあるか、「わり算」が使われている場面
 - 自分の苦手な計算の練習をする。（かけ算、わり算、くり上がり、くり下がり）
 - ※百マス計算をして、時間をはかるのもいいね。

- 理科**
- 本やインターネットをりようして、自分のふしぎに思ったことを調べる。
 - 植物や生き物のかんさつろくをつけてみる。
 - 教科書や図書室の本をさんこうにして、家でできるじっけんをする。

- その他**
- けんぱんハーモニカやリコーダーの練習をする。
 - マラソンやなわとびなどの体力つくりにちょうせんする。

②読書 頭と心に たっぴり えいよう

- 学校の図書室や市立図書館から本をかきりなどして、本をじっくり読む。
- 国語の教科書にしようかいてある本は、かならず読みましょう。
- とくに休みの日は、読書の時間をゆっくりとって、楽しみながら

読みましょう。家の人といっしょに読むのもいいですね。★毎月23日は「親子読書の日」

